

# 第1学年 国語科 学習指導案

日時 平成24年9月20日(木)

対象 第1学年5組 39名

授業者 教諭 磯部 博子

場所 4階 1年5組教室

## 1 単元名 「きちんとした形式の手紙を書く」

## 2 単元の目標

調べ学習や体験学習等でお世話になった人たちに、あらたまった手紙の形式を踏まえながら心を込めて、具体的な例を加えてお礼の手紙を書く。

### 【関連する指導事項】

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く。

エ 表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。

## 3 単元設定の理由

「総合」の時間等で、調べ学習・体験学習に取り組むケースは、1学年でも多く見られる。お世話になった人たちにお礼状を書き感謝の気持ちを伝える場面も、発生することだろう。小学校第3学年及び第4学年で、「エ 目的に合わせて礼状などの手紙を書くこと」は学んできているが、中学生となった段階でのお礼状は、大人への第一歩としてあらたまった手紙の形式を踏まえて書かせたい。

そこで、まず手紙の形式を指導してから、心のこもった手紙を書くことに取り組むまいと考えた。その指導の際、辞書を使いながら自らの力で新しい言葉を知り、関連する言葉を見ついたり説明のページを見ついたりする等辞書使いこなす力も合わせてつけさせたいと考えた。また、自分の気持ちの根拠を明確にさせるため、手紙の文章に具体的なエピソードを加えるという指導にも取り組むため、本単元を設定した。

## 4 単元の指導計画・評価計画(2時間扱い)

時	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法
1 本時	あらたまった形式の手紙の書き方を知る。	体験学習でお世話になった人にお礼状を書くために、手紙の形式を辞書を使って学ぶ。	・ワークシート
2	あらたまった形式を踏まえながら、心のこもった手紙を書く。 書いた手紙を推敲する。	具体的なエピソードを加えながら伝えたい事柄を、心を込めて書く。 書いた手紙を読み返し、表記や語句の用法等を推敲する。	・伝えたい事柄を根拠を明確にして書いているか。 (手紙の記述) ・推敲しているか。

5 本時の学習指導 (1 / 2 時間目)

	学 習 活 動	留 意 点	評価規準・評価方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習等でお世話になった人にお礼状を書くにあたり、きちんとした形式のお礼状を書くことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人の手紙で知っていることを発言させ、実体験と結びつかせるようにする。</li> </ul>	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらたまった形式の手紙に使われる言葉を調べる。</li> <li>いい時候のあいさつを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を聞くだけという受け身的な学習にならないようにする。</li> <li>辞書で調べながら、言葉への興味関心を広げていくようにする。</li> <li>中学生らしい時候のあいさつが出るように考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を使いながら、自分の言葉の世界を広げようとしているか。 (ワークシート)</li> </ul>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の振り返りと次回、実際にお礼状を書くことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文に、具体的なエピソードを加えるよう、指示しておく。</li> </ul>	